

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月17日

事業所名 POCCO音の泉しょうわちゅうおう

|          |    | チェック項目   | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点       | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                    |
|----------|----|--|----|-----------|-----|---------------|---|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 6  |           |     |               | 十分なスペースでの療育ができています。   |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である   | 6  |           |     |               | 法定基準が守られている。  |
|          | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 6  |           |     |               | 段差なく、バリアフリー化になっている。   |
| 業務改善     | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | 4  | 2         |     |               | 職員全員が参画できるよう、進めていく。   |
|          | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 6  |           |     |               | 一年一回の保護者向けアンケートをもとにミーティングを行っている。                            |
|          | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 6  |           |     |               | これからも、継続して公開していく。   |
|          | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             | 3  | 3         |     |               | 業務改善できるよう、第三者の意見も取り入れていく。                                   |
|          | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 6  |           |     |               | 山内先生の研修(年8回)に参加している。他、県で実施している研修に参加している。                    |
| 適切な支援の提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4  | 2         |     |               | 送迎時に保護者と情報共有しながら、ニーズを知っていく。                                 |
|          | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                 | 5  | 1         |     |               | 引き続き、定期的にアセスメントをしていく。                                       |
|          | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | 6  |           |     |               | 職員を中心に行っている。  |
|          | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | 6  |           |     |               | 日頃から、職員間で話をしている。子どもからの意見を取り入れている。                           |
|          | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | 5  | 1         |     | POCCO全体でのイベント | 休日利用者を増やす為、イベントを企画。SNSで発信。                                  |
|          | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | 3  | 3         |     |               | 集団活動がメインだが、必要に応じて個別活動で対応している。                               |
|          | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している             | 4  | 2         |     |               | 正職員を中心に打ち合わせを行い、全員に共有している。                                  |
|          | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している        | 4  | 2         |     |               | その日に振り返りができない場合は、翌日話し合う時間を設けている。その場いない職員の為に連絡ノートを通して共有している。 |
|          | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                    | 4  | 2         |     |               | HUGシステムの中で業務日誌、ケース記録に記録を残している。ケース記録では、ダブルチェックを行い改善に努めている。   |
|          | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                  | 4  | 2         |     |               | 6ヶ月に一度のモニタリングを行い、保護者と話合っている。                                |
|          | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている                         | 6  |           |     |               | ガイドラインに沿って行っている。  |

|              |    | チェック項目  | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点     | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                |
|--------------|----|---|----|-----------|-----|-------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | 6  |           |     |             | 責任者、児発管、利用児をよく理解できている者が会議に出席している。                       |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6  |           |     |             | 送迎時に学校の先生とも会話をしながら、情報共有に努めている。                          |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             | 6  |           |     |             | 重身の子どもはいないが、事業所で協力医療機関が決まっている。また、子どものかかりつけ医も記入してもらっている。 |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | 6  |           |     |             | モニタリング会議や関係者会議に参加し、情報共有している。                            |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | 4  | 2         |     |             | 他のサービスとの連携も取れている。また、いつでも支援内容等提供できるよう、準備をしておく。           |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | 2  | 4         |     |             | 今後、研修が開かれる場合には、全員出席できるようにする。                            |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 | 3  | 3         |     |             | コロナ感染危惧の為、実施していない。企業内保育所とイベントを通じて交流する機会を設ける。            |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   | 2  | 4         |     |             | 責任者、児発管が参加している。   |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | 6  |           |     |             | 送迎や連絡帳、HUGシステム等で、絶えず連絡を取っている。                           |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       |    | 6         |     |             | 山内先生の研修会や相談会などに参加し、スキルを学んでいく。                           |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                      | 4  | 2         |     | 契約書・重要事項説明書 | 契約時に、丁寧に説明を行い、ご理解をいただいている。                              |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | 6  |           |     |             | 送迎時など適宜話を伺っている。スタッフで共有し、分かりかねる際は部長に相談している。              |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                          |    | 2         | 4   |             | コロナ感染が終息した際には、企画し行いたい。                                  |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している    | 6  |           |     |             | 苦情があった際は、スタッフで迅速に共有し、部長に報告している。助言に基づき対応している。            |
|              | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                      | 6  |           |     |             | 公式LINE、SNS等を使って周知している。また、HUGを通して月の予定は保護者に閲覧できるようになっている。 |
|              | 35 | 個人情報に十分注意している   | 6  |           |     | カギ付きロッカー    | 個人ファイルは、ロッカーを施錠し漏洩の無いよう管理している。                          |
|              | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                  | 6  |           |     |             | 送迎時、連絡帳、公式LINEを使いながら、意思疎通を図っている。                        |
|              | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                    | 2  | 3         | 1   |             | 中央市主催の会議に参加し、地域の事業所との情報交換を行っている。                        |

|         |    | チェック項目   | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点     | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標   |
|---------|----|--|----|-----------|-----|-------------|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 6  |           |     |             | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルをもとに訓練も積極的に行っている。感染症マニュアルをもとに、日々徹底した感染症対策を行っている。           |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 6  |           |     | 防災頭巾・防災リュック | 定期的に、実施している。   |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 6  |           |     | 適正化委員会      | 定期的な研修で、日頃から行っている。   |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6  |           |     |             | 利用契約時に保護者と同意書を交わしている。また、やむを得ず行われそうな子どもには、個別支援計画に記載をする。                       |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 6  |           |     |             | 契約時によ、目につくところへアレルギーのある子どもには、その一覧表を提出いただいている。また、職員全員に周知できるよう、目につくところへ貼り出している。 |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 6  |           |     |             | 月に一回、社内全体で様々な案件を検討し、改善に努めている。事業所内でも共有している。                                   |